



電車

JR常磐線・東武アーバンパークライン「柏駅」下車
西口から徒歩約18分

巡回バス(無料)

「柏駅」西口、「豊四季団地」「豊四季駅」
「柏の葉キャンパス駅」より当院循環バスがごございます

東武バス

柏駅西口3番乗り場・系統「柏02」
14:00まで「市内循環(三間先回り)」約15分
14:00から「市内循環(松ヶ崎先回り)」約5分
停留所「高田下」下車徒歩5分

車

常磐道「柏インター」から約15分

タクシー

「柏駅」西口から約5分

診療時間

診療科によって診療時間が異なります。
詳しくはHP「診療担当医表」をご参照ください。

月～金 9:00～19:00／土 9:00～12:50



柏厚生総合病院

KASHIWA KOUSEI GENERAL HOSPITAL

〒277-8551 千葉県柏市篠籠田617番地

TEL:04-7145-1111(代)

FAX:04-7143-8637

<https://www.kashiwakousei.or.jp/>

柏厚生

検索



地域に根ざした、ふれあいの医療を大切にします。



柏厚生総合病院

KASHIWA KOUSEI GENERAL HOSPITAL



理念

Philosophy

質の高い、安全な医療を提供することを大切にします。

「患者さまから選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」の実現のために、
以下を当院の理念として、患者さま本位の医療サービスの提供に努めます。

1 良質な医療の提供

質の保証は医療において必須です。当院では常に質の高い医療を提供することができるように努力いたします。

全職員が医療人としての自覚を持ち、知識と技術の向上のために研鑽を積みます。

最新医療機器の導入による高度な医療を実践します。

2 地域に密着した医療

地域住民、地域医療機関と密着した医療を提供します。

24時間365日救急体制によりいつでも安心して受診できます。何人も平等に医療を受けられる病院です。

3 患者さまの権利を尊重

当院は患者さまの尊厳とプライバシーを尊重します。

安心して治療に専念していただけるように院内環境に配慮し、静かで居心地のよい快適な療養環境を目指します。



病院長あいさつ

Director's message

当院は1979年の開設以来、地域の皆さまへの医療活動に全力を注ぎ、患者さま中心の医療の実践を心掛けてきました。これからも患者さまに、より一層、質の高い、安全な医療を提供させていただけますように、職員一同、自己研鑽に努めてまいります。

地域の中核病院としての役割を認識し、診療機能の向上に努め、地域連携を密接に行い、救急診療体制の充実にも努めさせていただきます。

良い医療人の育成を目標に、医療に携わる医師や看護師を含むあらゆる職種の教育を実践しながら、皆さまにより良い医療を提供できるように取り組んでまいります。

日本の医療制度、保険制度は刻々と変化していきませんが、「患者さまから選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」を具現化できるように、全職員が一丸となって、常に向上していく決意で、安全で質の高い温かな医療を患者さまに提供させていただきたいと思います。

皆さまと一緒に、いつも頼りにされるような病院を創り上げていきたいと思います。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



院長 諏訪 達志



病院案内

Hospital information

病院概要

住 所	〒277-8551千葉県柏市篠籠田617番地
T E L	04-7145-1111(代)
F A X	04-7143-8637
病 床 数	322床
敷地面積	7,652.76㎡
床 面 積	14,120.05㎡
駐 車 場	約350台
開 設	1979年12月1日
病 院 長	諏訪 達志
職 員 数	1,046名(R5.4.1現在)
	医師66名、歯科医師3名、看護師392名、准看護師13名、保健師4名、薬剤師30名、理学療法士86名、作業療法士24名、言語聴覚士8名、臨床工学技士21名、放射線技師30名、検査技師44名、管理栄養士7名、視能訓練士3名、救急救命士11名、歯科衛生士9名、保育士21名、保育補助3名、介護福祉士19名、介護士43名、看護助手17名、クラーク51名、事務141名
基準関係	看護 一般7：1、脳血管疾患等リハ(I)、運動器リハ(I)、呼吸器リハ(I)

診療科

内科	整形外科
呼吸器内科	脳神経外科
循環器内科	形成外科
消化器内科	内視鏡外科
血液内科	移植外科
腫瘍内科	アレルギー科
糖尿病内科	リウマチ科
腎臓内科	小児科
肝臓内科	皮膚科
内視鏡内科	泌尿器科
人工透析内科	婦人科
脳神経内科	眼科
外科	耳鼻咽喉科
呼吸器外科	リハビリテーション科
心臓外科	放射線科
血管外科	歯科
消化器外科	歯科口腔外科
乳腺外科	病理診断科
小児外科	麻酔科

認定

- ・臨床研修病院(基幹型)
- ・日本医療機能評価機構認定病院(認定第JC1849号)(審査体制区分:3)(ver.6.0)
- ・千葉県がん診療連携協力病院
- ・結核予防法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・公害医療指定医療機関
- ・指定自立支援医療機関
- ・千葉県肝炎ウイルス検査委託事業医療機関
- ・千葉県アレルギー疾患地域基幹病院
- ・柏市救急肝炎ウイルス検査委託事業医療機関
- ・介護保険法みなし医療機関(居宅療養管理指導訪問リハビリテーション訪問看護)
- ・身体障害者福祉法指定医師(肢体不自由、心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、視覚障害、膀胱又は直腸機能障害、聴覚障害、平衡機能障害、音声言語機能障害、そしゃく機能障害)
- ・柏市指定救急隊員研修病院
- ・慶應義塾大学関連病院
- ・健康保険取扱指定医療機関
- ・国民健康保険取扱機関
- ・生活保護指定医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・二次救急医療機関
- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設I
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本食道学会食道外科専門医認定施設
- ・日本食道学会食道癌全国登録施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本胃癌学会認定施設A
- ・日本肝臓学会関連施設
- ・日本外科感染症学会教育認定施設
- ・日本腎臓学会腎臓移植施設
- ・日本臓器移植ネットワーク腎臓移植施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本乳癌学会認定施設
- ・日本整形外科学会認定医制度研修施設
- ・日本血液学会専門研修教育施設
- ・日本麻酔科学会認定施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本小児科学会研修関連施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
- ・日本脈管学会認定研修指定施設
- ・3学会構成心臓血管外科専門医認定基幹施設
- ・腹部ステントグラフト実施施設
- ・胸部ステントグラフト実施施設
- ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本禁煙学会教育施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設
- ・呼吸器外科専門医研修期間施設専門研修連携施設(杏林大学)
- ・日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本人間ドック学会人間ドック健診専門医研修施設
- ・UAセンセン指定日帰り人間ドック実施施設
- ・健康保険組合連合会指定人間ドック実施施設
- ・日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
- ・医療被ばく低減施設
- ・日本病院会認定病院総合医育成プログラム
- ・日本成人心臓血管外科手術データベース参加施設
- ・日本病院総合診療医学会認定施設

フロア紹介 Floor information

地域の基幹病院として「24時間救急体制」を整え、人間ドックや健診などの
予防医学にも力を注いでおります。

これからも地域の中核病院として信頼される病院を目指します。



本館外観



総合案内



総合受付



外来待合



売店



化学療法室



小児科



透析室



リハビリテーション室



手術室



病棟ナースステーション



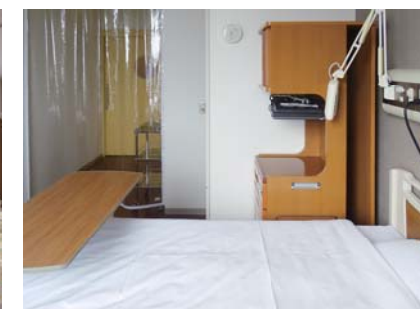
ICU



個室



4床室



無菌室



別館外観



健診待合



診察室



測定・採血

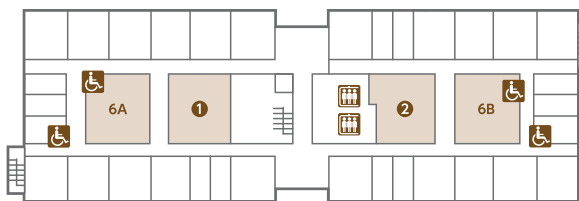


血管造影室



内視鏡センター

6F



- ① 6A スタッフステーション
6A-1～6A-18 病室
- ② 6B スタッフステーション
6B-1～6B-18 病室

5F



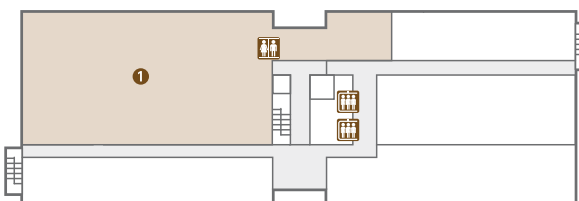
- ① 5A スタッフステーション
5A-1～5A-18 病室
- ② 5B スタッフステーション
5B-1～5B-18 病室
- ③ 無菌室

4F



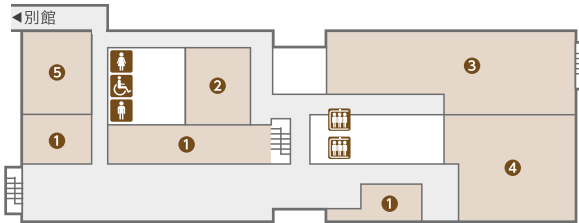
- ① 4A スタッフステーション
4A-1～4A-18 病室
- ② 4B スタッフステーション
4B-6～4B-18 病室
- ③ ICU

3F



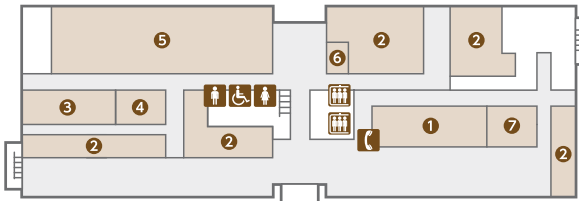
- ① 手術室

2F



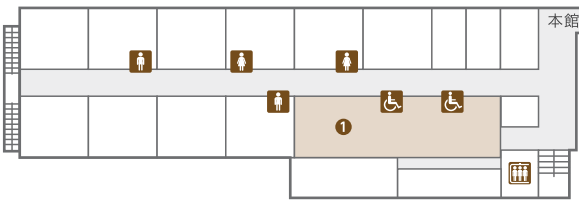
- ① 外来診療室
- ② 検査室
- ③ 血液浄化療法センター
- ④ リハビリテーション室
- ⑤ 中央採血室

1F



- ① 総合受付
- ② 外来診療室
- ③ 救急センター
- ④ 中央処置室
- ⑤ 放射線科
- ⑥ 売店
- ⑦ 地域連携室

2F



- ① 2Aスタッフステーション
2A-1～2A-15病室

1F

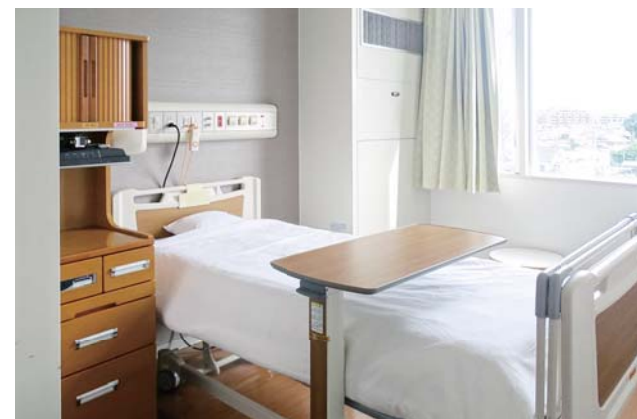


- ① 診察室
- ② エコー室
- ③ レディース診察室
- ④ 心電図室
- ⑤ 聴力室
- ⑥ 問診室
- ⑦ X線 TV室
- ⑧ 内視鏡センター
- ⑨ CT室
- ⑩ 血管造影室



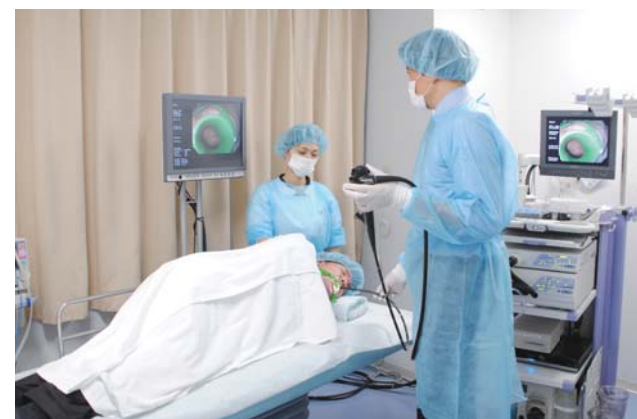
無菌室 Aseptic room

血液内科では血液疾病全般について診断治療を行っています。
白血病や再生不良性貧血の方の治療が安全に施行できるよう
無菌室を2床設置しています。



高度医療 Advanced medical treatment

各診療科において診療ガイドラインに沿った標準的医療を基本としています。
また、千葉県がん診療連携協力病院としてがん診療を積極的に行っています。
患者さまの肉体的負担の軽い先進的治療にも正面から取り組んでいます。



内視鏡室

通常の検査としては、上部内視鏡検査（胃カメラ）、下部内視鏡検査（大腸カメラ）を行っています。鎮静剤を使用した内視鏡検査により、苦痛なく検査を受けることができます。高解像度機器を用いて病変の早期発見を目指します。



手術室

最新医療機器を備え、質の高い治療ができる環境を整えています。
低侵襲な鏡視下手術を各診療科で行っています。



医療機器 Medical equipment

ダビンチのご紹介

当院では、手術支援ロボット「ダビンチ(ダビンチ サージカルシステム)」を導入しています。
「ダビンチ」は、次の3種類の機器を用いて医師がロボットのアームについている
鉗子やカメラなどを遠隔操作して手術を行うことができる装置です。
ロボットは医師の手の代わりとなり、細やかな動きをして医師の技術をサポート(支援)します。
※当院に導入の機種は「da Vinci X サージカルシステム」になります。



ペイシェントカート

4本のアームから構成されるペイシェントカートは、執刀医の手首以上の可動域を持ち、ロボットアームが手の動きを忠実に再現します。アームはコンピューターによる手ブレ補正機能が搭載されており、安全性の高い正確な手術が期待できます。第4世代のda Vinci Xのアームは、より小さく、より細くなったため、可動域が広がり、干渉を少なくしています。

サージョンコンソール

執刀医が座る操縦席(サージョンコンソール)です。
手術部位を高倍率の3D HD画像で、鮮明に見ることができ、手元のコントローラーでロボットアームに装着した内視鏡・メス・鉗子进行操作します。
関節機能付きの鉗子は、人の手よりも曲がり、回転し、安定した自然な動きで手術することができます。



ビジョンカート

ダビンチのあらゆる機能を司る中枢機器です。
カメラコントロールユニット(CCU)、フォーカスコントローラー、イルミネーターが搭載されており、手術中の画質を最適にする処理を行います。
上部に搭載されているモニターには、手術中の画像が映し出され、手術スタッフ全員で手術の進行状況を共有できます。



血管撮影装置

当院では血管領域の検査・治療を行うため、2017年8月よりバイブレーション機能搭載の血管撮影装置Artis zee BA PURE(シーメンス社)を導入し稼動しています。
Artis zee BA PUREは全身対応型で最先端の被ばく低減技術が数多く搭載されていますので、安心して検査・治療を受けていただけます。

MRI／CT

MRIとは、電波と強力な磁石を利用して体の臓器や血管を撮影する装置です。
特に脳、脊椎、四肢、子宮、卵巣、前立腺等の病変に優れた描出が可能で、検査時間は15～30分です。
CTとは、コンピューター断層撮影のことで、X線とコンピューターを用いて体の輪切りの画像を得ることができます。検査時間は3～15分です。



MRI

ドイツシーメンス社製の最新型MRI装置(MAGNETOM SYMPHONY 1.5テスラ)を導入しています。



CT

当院では2013年6月より、最新型の64列(128スライス)マルチスライスCT装置(シーメンス社・SOMATOM Definition Edge)を導入し、さらなる検査精度向上、被ばく低減に努めてまいります。



部門の紹介 Department introduction

看護部

業務の効率化につながる「電子カルテシステム」、24時間患者様の情報を確認できる「看護支援システム」、働く側の安心を守る「患者認証システム」を導入し、安全で質の高いケアが行える環境を整えています。

薬剤科

患者様が安全に薬物治療を受けられるように、患者様一人ひとりにあったお薬の管理と説明を通して安心して治療が受けられる環境を提供しています。また医療チームの一員として医師、看護師、その他医療スタッフと連携を取ることで安全な薬物療法を实践し、患者様に満足していただける病院として評価してもらえるようにスタッフ全員で努力をしています。

放射線科

1. 患者様を中心に患者様の立場で対応いたします
2. 高度な医療サービス提供のため努力いたします
3. チーム医療の一員として行動いたします
4. 安全確保のため適切な行動をいたします
5. 患者様のプライバシーを厳守いたします

検査科

病気の診断や治療効果の判定を行うためにさまざまな項目を検査しています。
尿や便、血液などを試料として行う検体検査と直接患者様に触れて行う生理検査の2つを行っています。

血液浄化療法センター

安全・快適かつ十分な透析を受けていただくため、より確かで高度な医療を提供します。
ベッド数 20床(全床オンラインHDF対応、全床無料の液晶テレビ装備)

リハビリテーション科

「幸福感を追い続けるリハビリテーション科」という理念を胸に、柏市を中心とした地域住民の皆様がお怪我やご病気をされても「自分らしい暮らし・人生」を送ることができるよう役割を果たしてまいります。
専門的なリハビリテーションの提供と、スタッフ間の連携の強化を目的に、4つの専門チーム(整形外科チーム・内部障害チーム・回復期チーム・訪問リハビリチーム)に分けてリハビリテーションを実施しています。

栄養科

患者様の症状や栄養状態に合わせた食事を提供することで、疾病の早期回復や合併症の予防を図り栄養面からサポートをしています。

また、入院および外来の患者様を対象とした個別栄養食事指導や、栄養管理実施計画、さらには褥瘡チーム、NST(栄養サポートチーム)、病棟カンファレンスの参加など他職種との連携により、患者様の栄養管理に取り組んでいます。



地域連携 Regional alliances

地域連携課

地域連携課では、病院と地域を結ぶパイプ役となっております。医療相談室では、入院中の患者様の退院支援を中心に、他院からの移転相談や外来の患者様への支援を行っております。連携室では、紹介状をお持ちの患者様への対応をはじめ、予約対応、逆紹介のご案内、広報活動を行っております。



ご相談やご不明な点がありましたら、医師・看護師・受付職員などにお声がけください。

受付時間

平日(月～金) 9:00～18:00
土曜日のみ 9:00～13:00

地域連携課 直通

TEL. 04-7145-1130
FAX. 04-7145-1262



委員会活動 Committee activity

当院では、手厚いチーム医療によって医療の効率を高め、なるべく短期間の入院で社会復帰していただけるよう努めています。
全職種が力を合わせ連携することで患者様の早期回復に取り組んでいます。

多職種カンファレンス

それぞれの職種が「医療人のモラル」を重視し、独自の観点から積極的にチーム医療に参加しています。
院内では定期的に多職種カンファレンスを開き、すべての職種の視点から患者様の状態を検討しています。

NST(栄養サポートチーム)ラウンド

低栄養状態や摂食・嚥下障害などで、栄養管理が必要な患者様の改善を図ることを目的として、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士・管理栄養士・事務スタッフで栄養サポートチームを構成し、定期的に院内をラウンドしています。